

## ツリー飾り買って被災者支援

職失った女性50人が手作り

クリスマスに向け、東北の女性らが手作りしたツリー用オーナメント（飾り）の販売が、大阪の百貨店で始まった。東日本大震災の被災者に仕事を創出して復興につなげる取り組みの一環で、関西でも支援の輪が広がっている。

一般社団法人「チームともだち」（埼玉県吉川市）による「東北グラマのクリスマスオーナメント」事業。主要産業の漁業に打撃を受けた宮城県石巻市の<sup>おおさし</sup>大指地区で、職を失った女性に仕事を通じた生きがい作りをと始めた。岩手県陸前高田市、同県久慈市の女性らも



加わり、総勢約50人が取り組んでいる。協力企業から、無農薬のコットン製品を製造する過程で出るはぎれを提供してもらったなどし、女性らが縫い上げた。飾りは星やハート、靴下など。サイズ違いで3種類のセット（各1000円）があり、一つ売れるごとに200〜4

00円が女性らの収入となる。

阪急百貨店梅田本店（大阪市北区）では、クリスマスケーキの予約開始に合わせ、19日から限定発売。約300個のオーナメントで飾ったツリーを、25日まで4階エスカレーター前に展示している。写真。大丸百貨店も兵庫県内の神戸、芦屋、新長田、須磨の4店舗で11月16日から12月13日まで、計4000セットを販売。大丸神戸店の広報担当者は「同じ被災地として、神戸から東北を笑顔にしよう」と販売を決めた」と話す。

関西で活動する同団体のメンバー、斎藤悠実さんは「ボランティアには行けなくても、商品を買うことで支援してもらえれば」と期待している。